

2018 年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希 望	項目	内容
	所 属	人文科学研究科                      フランス文学専攻                      M2 年（留学年次） M2 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 パリ第 10 大学 美術史専攻
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018 年 9 月 1 日 ～ 2019 年 6 月 27 日 出国日        2018 年    8    月    27    日 最終帰国日 2019 年    8    月    15    日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

**(1) 留学当初の所感（第 1・2 回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等**

今回の留学自体への満足度は高いものの、やはりもっと長くパリに残って学業を続けたいと思うことが多い。そういった意味でも留学前よりも学習に対する自分の姿勢が貪欲なものになっているように感じる。

**(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること**

当たり前であるが、語学力についてはいくらやっても万全の準備が整うということはないため、時間があるうちにより上のレベルを目指して勉強しておくべきだと感じる。

### 2. 留学先大学について

**(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想**

授業は科目によって印象は大分変わってしまうが、基本的にどの教授も生徒の意見や質問をきちんと聞いてくれるため、時に予期せぬところで討論が始まるなど、ただノートを取るだけではなく、意見の交換ができるという意味で非常にオープンなものだった。

**(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想**

パリ郊外に位置し、大学自体の敷地が広いものの、一つのキャンパスとしてのまとまりがある。自然も多く、天気の良いとキャンパス内の至る所でピクニックが始まり、のんびりと落ち着いた校風であることが伝わってくる。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

交換留学生に対しては、大学付属の語学学校で年間を通して3コマまで無料で語学科目が受講できる。4コマ目以降の授業料は詳しくは分からないが、文法やオーラル、読み書きといった単純なものだけでなく、語学のレベル(A1~C2)毎に様々なテーマで多くの科目が設けられており、選択肢は多い。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

私の場合はうまく連絡が取り合えなかった関係で結局会うことはなかったが、国際センター主催のバディ制度があり、留学を始めるに当たっての手続き関係などきちんとサポートしてくれるようです。また学期の初めごとに留学生向けのウェルカムパーティーが開かれる他、生徒主催のソフレが年間を通して構内でよく開かれている。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

住宅補助

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

上に記載した通り、のどかな雰囲気です。特に治安は問題がないように思う。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Français écrit 4(3)	
Débats 4(3)	
histoire contemporaine (3)	
Politiques culturelles	
international II(3)	
séminaire extérieur (3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 425 ユーロ、(日本円) 約 54,000 円

※もともと月々421ユーロだったものの年度途中で値上げ

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ( )

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩／自転車／バス／地下鉄／その他（ ）、計 25 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

治安が非常に良く落ち着いた地区であるにも関わらず学生寮ということもあり、家賃は相場よりも安く、国籍問わず同年代の学生の友人がたくさんできる。

#### 4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0ユーロ、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機／船舶／その他（ ）、(日本円) 約 230,000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 800～900 ユーロ、(日本円) 約 10～11 万円

※宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード／クレジットカード／国際ブランドプリペイドカード  
／現金／その他（ ）

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現金はマルシェや銀行開設時に必要であるが、基本的にクレジットカードで生活可能。インターナショナルキャッシュカードは緊急時のために準備したが、1 度も使用せず留学を終えることができた。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

渡航費(23 万円)および書籍等文具の購入(7 万円)に充てた。

#### 5. 保険について

(1) 保険会社名

AIG 海外旅行保険

(2) 保険料

約 10 万円強

(3) 加入した保険の種類、内容

死亡保障や賠償責任など基本的な保障は入っているものの、治療費を含まないプランを選択。

(4) 感想、良かった点・悪かった点

幸いなことに 1 年間何も問題がなく、特に使用せず終了

#### 6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

薬類 大抵のものは現地で買えるので特にはないが、体質によって合う合わないの問題が出てくるため薬品は使い慣れているものを持参するべきだと思う。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

日中は大学、または国立図書館で授業の予習復習、課題や自分の研究を進める。  
夜は予定がなければゆっくり料理をして部屋で読書など。

### (2) 週末

友人と会ったり旅に出るなど。

## 8. 後輩へのアドバイス等

一人一人、目的や目標は様々だと思いますが、兎にも角にも自分の好きなことを突き詰めることのできる贅沢な時間です。人や文化、環境など新しい出会いにワクワクしっぱなしの素敵な留学生生活を存分に楽しんでください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。